

授業科目	*看護学概論				実務家教員担当科目	○					
単位	2	履修	必修	開講年次	1	開講時期	前期				
担当教員	金山 正子										
授業概要	看護・看護学の発展過程を踏まえ、看護の概念(人間、環境、健康、看護)について理解を深め、看護の定義と本質について考える。また、看護倫理や看護制度、専門職としての役割・専門性について概説する。さらに看護の理論、研究、実践の関係を理解し、看護の現状と今後の課題を考える。看護の実務経験を活かした最新の看護の現状や動向を取り入れ、講義で概説する。 以上のことについて、実務家教員として臨床での実務経験を有する教員が教授する。										
授業形態	講義、演習		授業方法	グループワーク、プレゼンテーション Classroomを活用							
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護の定義を述べることができる。 2. 「人間」を統合体として捉える意味を述べることができる。 3. 「人間」「環境」「健康」「看護」の概念を述べるができる。 4. 看護実践の基盤となる法律を述べるができる。 5. 看護教育制度の概略を述べるができる。 6. 保健・医療・福祉システムにおける看護職の役割を述べるができる。 7. 看護実践における倫理の重要性を述べるができる。 8. 災害看護の必要性を述べるができる。 9. 今後の看護の課題について述べるができる。 										
理想的レベル	標準的レベルの目標1~9を述べる。主体的に文献や資料を活用して、個人学習とグループ学習を行い、プレゼンテーションを行うことができる。										
評価方法・評価割合											
評価方法	評価割合(数値)			備考							
試験	60%										
小テスト											
レポート	30%			講義中に課題を説明します							
発表(口頭、プレゼンテーション)	10%										
レポート外の提出物											
その他											
カリキュラムマップ(該当DP)・ナンバリング											
DP1	○	DP2	-	DP3	○	DP4	○	DP5	-	ナンバリング	NU11201J
学習課題(予習・復習)										1回の学習目安 (時間)	
予習と復習は、講義の該当部分の資料や教科書を読み、理解する。 事前に指定した課題レポートを作成し、講義時にグループワークで意見交換を行う。										4	
授業計画											
第1回	テーマ:①授業の概要と進め方のガイダンス ②人間科学としての看護学:看護の歴史的変遷と看護の定義や概念を概説し、看護とは何かを考える。										

第2回	<p>テーマ：看護の概念(人間、環境、健康、看護)について</p> <p>課題レポート、教科書等を活用して、人間とは何か、人間の「こころ」と「からだ」の関係、成長・発達について、人間の基本的ニード、生活者としての人間について考え、意見交換をする。</p>
第3回	<p>テーマ：看護の概念(人間、環境)、健康、看護)について</p> <p>課題レポート、教科書をもとに、健康とは何か、健康の定義、国民の健康状況、環境とは何か、環境の定義、環境と健康、健康と生活について考え、意見を交換する。ここでは、人間、環境、健康、看護の概念の、相互関係について考える。</p>
第4回	<p>テーマ:看護の概念、ナイチンゲール「看護覚え書き」、ヘンダーソン「看護の基本となるもの」を読み、看護に対する考え方について、課題レポートをもとに、意見交換をする。</p>
第5回	<p>テーマ::看護の概念と看護理論、グループワークの成果発表と意見交換</p> <p>人間・環境・健康・看護の4つの概念とナイチンゲール、ヘンダーソンの看護の考え方について、グループで学習成果をまとめ、全体で発表し、意見交換を行う。</p>
第6回	<p>テーマ：看護の役割と機能</p> <p>法的・倫理的責任、チーム医療における連携と協働、患者の自立支援、ケアリングの役割と機能、看護が機能する場と看護活動、看護の役割拡大・機能の拡大について概説する。</p>
第7回	<p>テーマ：看護における倫理</p> <p>職業倫理としての看護倫理の重要性、患者の基本的人権と権利擁護について概説し、インフォームドコンセントおよび患者の意思決定支援、個人情報保護および守秘義務、現代医療における倫理的課題などについて概説する。また、看護倫理の原則と看護職の倫理綱領を理解し、倫理的課題への対応について考える。</p>
第8回	<p>テーマ：看護の役割と機能:保健・医療・福祉の連携</p> <p>医療保険制度、福祉制度、チーム医療の必要性和意義、多職種連携、地域包括システムにおける看護職の役割などについて概説する。</p>
第9回	<p>テーマ:医療安全</p> <p>医療事故と医療安全、看護における医療事故と対策、医療安全への取り組みなどについて概説する。</p>
第10回	<p>テーマ:看護制度と看護行政</p> <p>看護職者に関わる法制度について、保健師助産師看護師法を中心に、医療法、労働にかかわる法などの関連法について概説する。</p> <p>また、看護行政と看護の人員配置基準と診療報酬制度、看護管理などについて概説する。</p>
第11回	<p>テーマ：専門職としての看護、看護教育制度</p> <p>専門職としての看護、看護職の資格と養成制度、看護基礎教育制度、継続教育と専門看護師・認定看護師・認定看護管理者、看護職のキャリア開発などについて概説する。</p>
第12回	<p>テーマ：災害における看護</p> <p>災害看護の概念、災害と健康、災害サイクルにそった看護活動について概説し、看護職の役割について考える。</p>

第13回	<p>テーマ：グローバル社会と看護</p> <p>異文化の理解、レイニンガーの文化ケア理論、健康と保健医療の世界的課題、国際協力などについて概説し、看護活動の場と役割の拡大について考える。</p>
第14回	<p>テーマ：今後の看護の方向性と課題について考え、各自の課題レポートをもとに、意見交換と発表を行う。</p>
第15回	<p>テーマ：授業のまとめ</p>
テキスト	<ol style="list-style-type: none"> 1. 宮脇美保子編：新体系看護学全書 基礎看護学①看護学概論、第5版、メヂカルフレンド社、2021年 2. .F. ナイチンゲール著、小玉香津子・尾田葉子訳：看護覚え書、本当の看護とそうでない看護、日本看護協会出版会、2019年、新装版 3. V. ヘンダーソン著、湯楨ます・小玉香津子訳：看護の基本となるもの、日本看護協会出版会、2020年、再新装版 4. 宮脇美保子総監修：新体系看護学全書 準拠 基礎看護学まとめノート、第1巻 看護学概論/臨床看護総論、メヂカルフレンド社、2022年
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<p>参考図書・教材は、図書館にある本やDVD教材を活用してください。授業中に必要に応じて資料を配布します。</p> <p>看護関連情報は、インターネットで信頼できるサイトを選び、参照して下さい。(例－厚生労働省や日本看護協会のホームページなど)</p>
課題に対するフィードバックの方法	<p>classroom を活用して質問への回答や課題へのコメントを掲示する</p>
学生へのメッセージ・コメント	<p>看護学科に入学して初めて学ぶ看護専門科目です。教科書や資料に出てくる単語や専門用語などは、専門の辞書や図書などで調べて下さい。また、レポートは指定日までに作成して提出して下さい。</p> <p>看護学だけでなく、看護学以外の学問の図書や文献を読んだり、社会の中のさまざまな情報からも、必要な知識を得て学習して下さい。</p>

